

利益は計画を大幅に上回り、期末配当予想を15円から18円に修正

業績動向

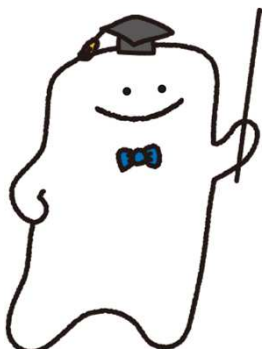
(単位：百万円)

連結	13/12	14/12	15/12	16/12	17/12
売上	9,187	10,443	11,567	12,300	13,098
売上総利益	2,933	3,388	3,769	3,956	4,532
営業利益	919	1,204	1,299	1,446	1,762
経常利益	809	1,044	1,196	1,328	1,668
当期純利益	455	626	724	853	1,111
1株当たり 配当金(円)	3.00	6.00	10.00	12.00	18.00

当社グループの主力事業である不動産販売事業において、居抜きの販売額は計画を上回ったものの、底地及び所有権の販売が計画を下回ったことから、売上高が計画を989百万円下回りました。一方、権利調整努力及び販売努力により各事業において利益率が計画を上回り、特に西日本エリアにおける居抜きが好調に推移したことにより、営業利益は計画を371百万円上回りました。

建築事業においては、注文住宅及びリフォーム工事の販売が計画を下回り、売上高が360百万円、営業利益が75百万円計画を下回りました。

仕入高は計画を大幅に上回り、来期販売分の棚卸高が大幅に増加しました。

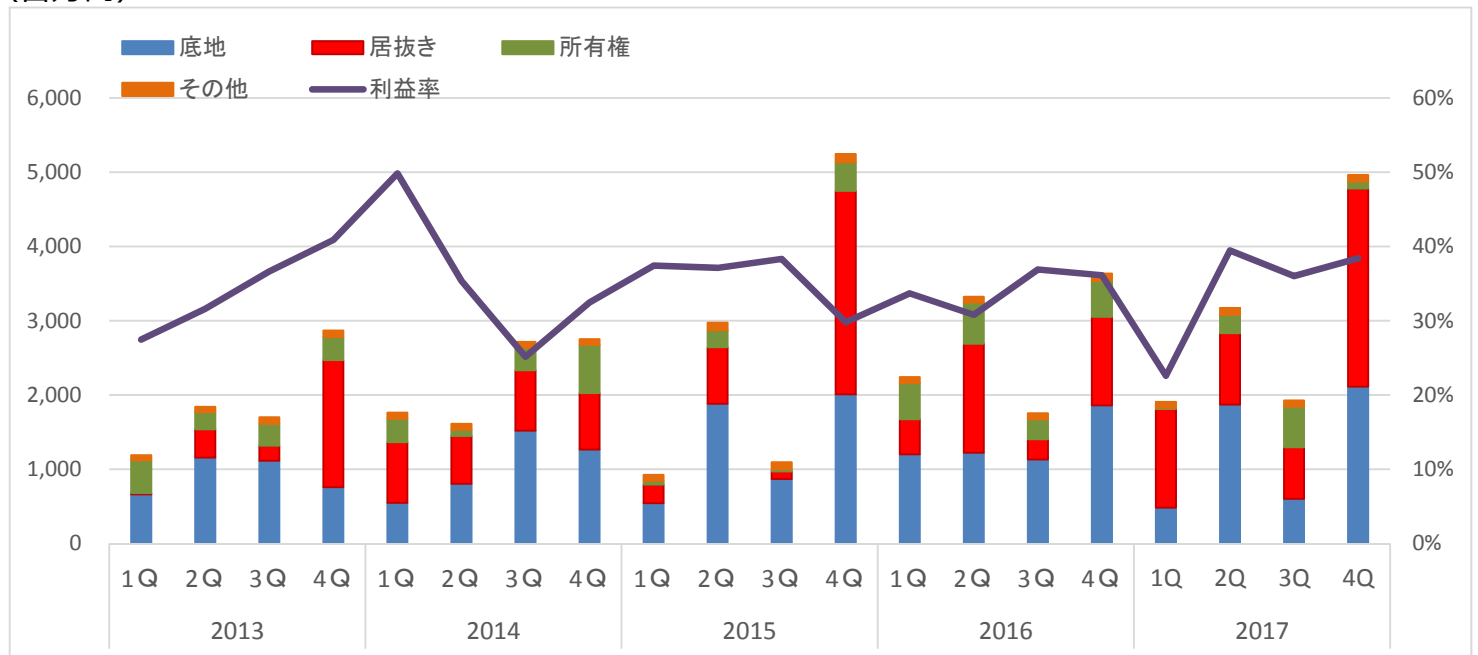


セグメント別売上

(単位：百万円)

連結	13/12	14/12	15/12	16/12	17/12
不動産 販売事業	7,599	8,839	10,240	10,959	11,968
底地	3,690	4,134	5,300	5,413	5,066
居抜き	2,310	3,034	3,851	3,404	5,649
所有権	1,278	1,347	690	1,791	899
その他 不動産	319	323	398	350	353
建築事業	1,588	1,604	1,327	1,341	1,129

(百万円)



(売上高)

(利益率)

底地及び所有権の販売額は計画を下回ったものの、居抜きの好調、権利調整努力及び販売努力により各事業で利益率が上昇したことにより、利益は計画を上回る。

- ・売上計画比：底地80%、居抜き126%、所有権52%
- ・粗利計画比：底地94%、居抜き179%、所有権61%

居抜き事業において、西日本エリアの好調が継続していることに加え、関東エリアにおいても順調に推移したことにより、売上・利益が計画を大きく上回る。

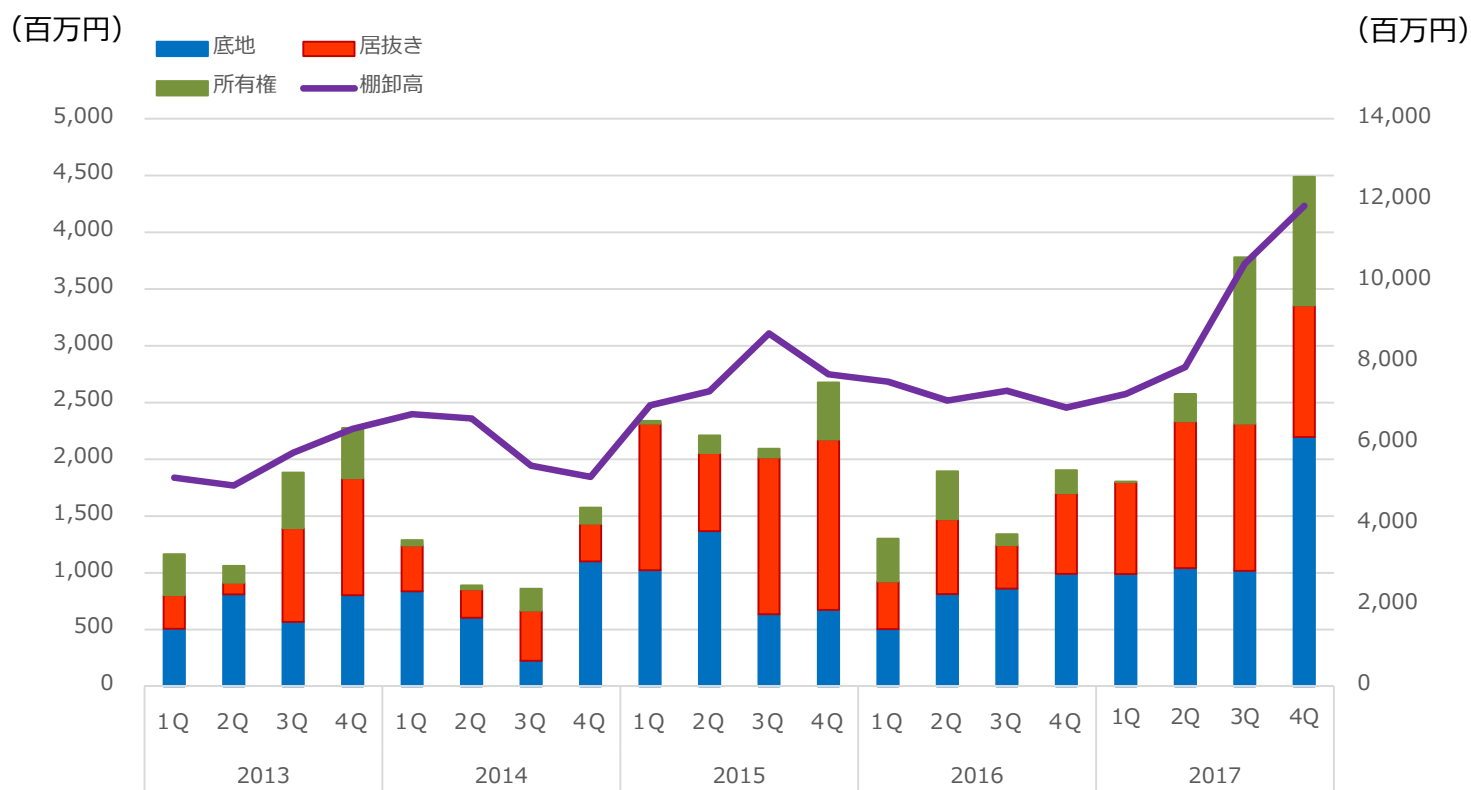
建築事業においては、セグメント損失は縮小したものの計画未達。

▶居抜きの好調により大幅な利益増加を達成

仕入・受注動向

(単位：百万円)

連結	13/12	14/12	15/12	16/12	17/12
不動産販売事業 (仕入高)	6,386	4,614	9,322	6,442	12,650
底地	2,688	2,768	3,700	3,169	5,246
居抜き	2,252	1,425	4,860	2,171	4,556
所有権	1,445	419	760	1,100	2,847
建築事業 (受注高)	1,651	1,429	1,223	1,432	1,052



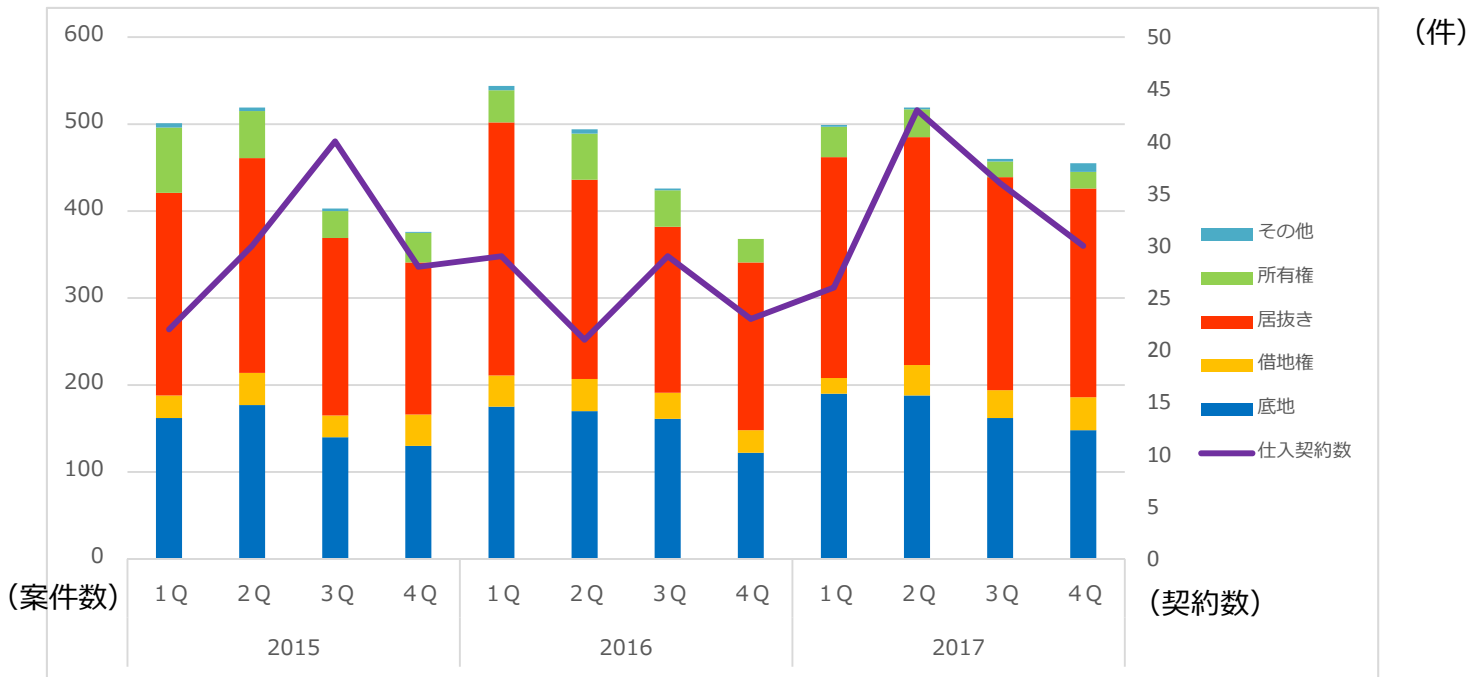
(仕入高)

(棚卸高)

- ・不動産販売事業の仕入高、棚卸高ともに大幅に増加し過去最高となった
- ・底地は関東エリア、居抜きは西日本エリア等、エリアの特性に応じた仕入が順調に推移
- ・案件の大型化傾向、良好な仕入環境が継続
- ・建築事業は採算重視の受注に注力するも、受注高は減少

▶過去最高の仕入高となり、来期販売分の棚卸高が大幅に増加。

案件数・仕入契約数動向



- ・銀行、信託銀行、証券会社など金融機関からの案件の増加
- ・サブリース会社や管理会社など、土地所有者と繋がり深い企業との業務提携、オーナー向け説明会を開催
- ・土業、土地所有者向けにDM発送 (東京、関西エリア)

▶ 案件数が増加するとともに、仕入契約件数も増加

財務状況動向

(単位: 百万円)

連結	13/12	14/12	15/12	16/12	17/12
現預金	1,185	2,275	2,253	2,435	3,558
販売用不動産	6,346	5,166	7,699	6,877	11,863
その他資産	1,386	1,350	1,444	1,519	1,493
総資産	8,918	8,792	11,397	10,832	16,915
流動負債	4,586	3,164	4,909	3,750	8,430
固定負債	464	366	453	225	479
純資産	3,867	5,261	6,034	6,856	8,006
自己資本比率	43.4%	59.8%	52.9%	63.3%	47.3%

▶ 仕入の増加により販売用不動産が大幅に増加し、借入金の増加により前期末比で流動負債が増加。

・本資料は同時に公表しております「決算短信」を補足する資料に過ぎません。詳細につきましては「決算短信」をご覧ください。
 ・この資料に記載されている予想・見通しは、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
 ・この資料は、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資に際しては、投資家ご自身のご判断において行なわれますようお願いいたします。

